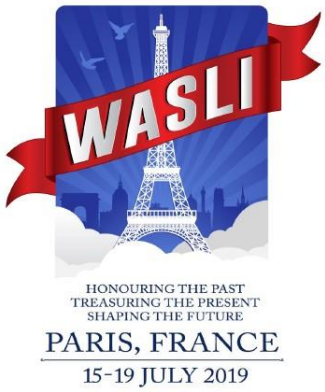
WASLI

World Association of
Sign Language Interpreters

WASLI
世界手話通訳者協会
総会
2019年7月17日
12:30 pm - 3:30 pm
フランス、パリ
総会資料



概要 3
WASLI とは 4

WASLI 2015-2019 理事役員 5

地域代表及び連絡窓口 5

連携団体 8
WASLI 国会員総会議題
WASLI パリ大会総会報告 8

WASLI 2019-2023 理事候補者 9

WASLI 理事役員報告 10
WASLI 会長 10
統計 12
WASLI 副会長 16
WASLI 事務局 19
WASLI 会計 21
WASLI 財務報告 22

過去４年間の **WFD/WASLI** による実績： 27
WFD/WASLI 報道声明 28
国連への WFD/WASLI 共同提出 28
WFD/WASLI 共同作業 28
WFD/WASLI 協力開発事業 29
WFD 会議に先立つ WASLI 大会 29
WFD/WASLI 基調講演 29

祝辞 30
WFD 会長 コリン・アレン AM 30
国際連合ジュネーブ事務局 レベッカ・エジントン 32
FIT 会長ケビン・クァーク及び FIT-WASLI 渉外アレクサンドラ・ジャンツァー 33

WASLI ろう通訳アドバイザー報告 35

地域代表報告 39
WASLI アジア 39
WASLI ヨーロッパ 41
WASLI 北アメリカ 43
WASLI オーストラレーシア・オセアニア 46

WASLI アフリカ 50
WASLI トランスコーカサス 51
WASLI バルカン 59
WASLI ラテンアメリカ・カリブ海 60

候補者公約 62

概要

この資料集は WASLI 理事役員及び地域代表による情報をまとめたものであり、7 月 17 日のパリ大会総会の資料となるものです。大会の進行についての質問は secretary.wasli@gmail.com まで。
各国協会は代表 2 名が総会に参加できます。オブザーバー参加は自由です。総会出席は無料です。

7 月 17 日午前中に地域代表会議を予定しています。地域会議は各地域の地域代表と共に誰でも参加し、2019-2023 年の活動計画についての意見を述べることができます。

代理投票 : 総会に代表者を送ることのできない国会員は、事務局 secretary.wasli@gmail.com にメールで代理投票することができます。その場合、協会名と権限を委任する人の名前を明示してください。

WASLI とは

我々の組織

世界手話通訳者協会（WASLI）は手話通訳者を代表する国際的な NGO 団体です。2005 年の設立以来、手話通訳のグローバル化という目標に向けて、世界各国に対して、国内の手話通訳者協会の設立や、通訳者養成対策、通訳基準の統一などを推進し、実現を支援してきました。我々の会員は 40 カ国に及びます。手話通訳の専業化を提唱する我々の方針は、手話通訳のレベル及び通訳サービスの倫理観念を高めるだけではなく、間接的にろう者の人権を守ることにもなります。WASLI は世界ろう連盟（WFD）と密接な連携関係を持ち、両者の主要事業を推進する上で、大きな成果につながっています。

我々のミッション

WASLI の目標は、世界に向けて手話通訳の専業化を推進することです。この目標を実現するため、我々は以下の活動を行います。
・国内手話通訳者協会のない国々に対して、設立を支援します。
・活動中の各国手話通訳者協会を支援します。
・インターネットやグローバル的な手法を活用し、世界と情報を共有します。通訳問題の判断基準になります。
・国際会議やスポーツ大会など、あらゆる国際イベントで活躍する手話通訳者を支援します。
・ろう協会と盲ろう協会が実施する手話通訳事業に携わります。
・研究分野のプログラムを推進します。
・質の高い養成講座や教育プログラム、手話通訳者認定制度などを開発し、推進していきます。
・カンファレンスやセミナーを主催します。
・言語通訳者協会など、同様な課題を抱える関連協会と連携します。

我々の価値及び活動指針

WASLI の指針は誠実に活動を行うことです。成功の鍵は、プロファッショナリズム、生涯学習、相互交流による基準の設定と遵守です。

・連携活動

WASLI は連携モデルに基づき、世界ろう連盟や世界盲ろう連盟などの連携団体と協力し、相互の課題解決や事業達成のために努めます。我々の国会員にもこの精神を提唱し、自国のろう団体との連携を促します。

Page 5

・積極性

WASLI は積極的に活動を行います。我々は率先して議論の場を設け、重要なポリシーを規定、世界に向けて発信します。

・説明責任

WASLI は会員の方々に対して、すべての決定事項に説明責任を果たします。

WASLI 2015-2019 理事会メンバー

会長　デブラ・ラッセル（カナダ）
副会長　ジョゼ・エジニウソン（ブラジル）
事務局長　イサベル・ヘイエリック（ベルギー／イギリス）
会計　スーザン・エマーソン（オーストラリア）
ろう通訳アドバイザー　ナイジェル・ハワード（カナダ）

地域代表及び連絡窓口

アジア　梅本悦子、宮澤典子（日本）
オーストラレーシア・オセアニア　アンジェラ・マーレイ（ニュージーランド）
北アメリカ　リズ・メンドーサ
トランスコーカサスと中央アジア　アンナ・コマロワ（ロシア）
バルカン　デサンカ・ジジック（シベリア）
ラテンアメリカ・カリブ海　イサベル・レイ（ペルー）
アフリカ　ナターシャ・パーキンス・マリコ
アラブ地域連絡窓口　ヘンド・アル・ショワイエ（サウジアラビア）

主要協力団体

以下の団体と了解覚書を交わした。
世界ろう連盟（WFD）：2007 年及び 2018 年更新
国連　ジュネーブ事務局（UNOG）：2011 年より
ヨーロッパ手話通訳者フォーラム（efsli）：2014 年更新
世界盲ろう連盟（WFDB）：2013 年
国際翻訳家連盟（FIT）：2015 年
レッド T:紛争地域で活動している通訳者及び翻訳者を対象とする共同支援関係を結びました。
2015 年から 6 つの国際主要団体（レッド T、AIIC、クリティカル・リンク、WASLI、FIT、IAPTI）及びその他の地域団体と協力し合っています。

※訳注：AIIC 国際会議通訳者協会　IAPTI　国際プロフェッショナル通訳翻訳者協会

写真：FIT 理事長ヘンリー・リウ博士、WASLI 理事長デブラ・ラッセル（2015 年）

左から右へ：マヤ・ヘス（レッド T)、アンジェラ・サッソ（クリティカル・リンク)、
デブラ・ラッセル（WASLI)、リンダ・フィッチット（AIIC)

WASLI 国会員総会議題

2019 年 7 月 17 日
フランス、パリ

1）挨拶
2）欠席会員からのおわび
3）監査から投票結果の承認（ガブリエラ・マルティネス《MX》、ボニー・ヒース《CAN》）
4）イスタンブール総会 2015 議事録
　a 議事録の修正及び承認
　b 2015 年度総会議事録の内容確認
5）WASLI 理事会 2015-2019 度活動報告
6）WASLI 財務報告
7）WASLI 地域会員活動報告
8）WFD／WASLI 国際手話認定諮問委員事業報告—クリストファー・ストーン博士
9）2019 年度総会事業報告—ミシェル・アシュレー実行委員長
10）代表スポンサーシップ委員会事業報告—サミュエル・チュー
11）新規事業について
　a スイス本部の承認
　b 理事メンバー（スイス住民）: 本部条件
　c アラブ地域の設立
　d 2019-2023 年度理事会及び地域代表の選出
　e その他の新規事業
12）表彰及び謝辞
13）集合写真
14）閉会の辞

WASLI パリ総会報告

このレポートの執筆時点で、2019 年度パリ総会まで 6 週間と迫ってきています。出席登録者数は 250 人だと想定していましたが、大きく上回る 435 人もの登録があり、まだ増える見込みです。後進国からは今まで最大規模の代表団がパリ大会に参加される予定です。50 カ国以上の参加者の中で、北朝鮮、バングラデシュ及びイランが初めての参加となります。それから、新規スポンサー及び戻ってきたスポンサーに対して、この国際的なイベントを支援し、理解を示してくれたことにお礼申し上げます。

この総会は企画当初から様々な挑戦を課したため、実行委員の皆さんにはたいへんご苦労をかけました。皆さんのご協力、ご忍耐、絶え間のない話し合い、素晴らしいチームワークに感謝しております。実行委員の名前はここで確認できます。

また、以下の方々には特別にお礼を言いたいと思います。（敬称略）デブラ・ラッセル、ステファン・バレーレ、クリスチャン・ラスマン、キャンベル・マクデーミッド、パトリック・ガラッソ、ショーナ・ジェーロ、ローラ・マデュクス、サミュエル・チュー、トレーシー・ノリス、ジェレミー・メナト、ナイジェル・ハワード、スーザン・エマーソン及びダニエル・ファーンデール。

WASLI 2019-2023 年度理事立候補者

理事長：　クリストファー・ストーン（イギリス）
副理事長：スーザン・エマーソン（オーストラリア）
事務局：　イサベル・ヘイエリック（ベルギー／イギリス）
　　ティム・ティナット（ナイジェリア）
　　アラン・ウェンツ（ニュージーランド）
会計：　　ナイジェル・ハワード（カナダ）
ろう通訳アドバイザー：アルナス・ブラザシンスカ（リトアニア）
　　フランシスコ・アルベルト・カレラ・コリア（ドミニカ共和国）
スイス・メンバー：総会で発表予定

地域代表

ヨーロッパ	ステファン・バレーレ（フランス）
ラテンアメリカ・カリブ海	マルセル・ガルシア（ベネズエラ）
北アメリカ	ダニエル・オルテガ・マヤ（メキシコ）
オーストラレーシア・オセアニア	ジョネティ・ロコツバウ（フィジー）
アジア	総会で発表予定
トランスコーカサス	総会で発表予定
アラブ	総会で発表予定
アフリカ	総会で発表予定
バルカン	総会で発表予定

WASLI 各理事役員報告

WASLI 会長
任期末総括報告
デブラ・ラッセル

親愛なる WASLI 会員及び支援者の皆様へ、

この４年間、国際的なレベル、また地域的なレベルで WASLI が果たしてきた意義を明らかにする数々の物語を皆さんと共有してきました。ニュースレター、フェイスブック、ツイッターで共有されるこれらの物語が自ら物語る一方で、これらの物語に光を当てたのは、いつも皆さん、通訳者、指導者、ろう者、協会、世界ろう連盟や国際連合のような国際的なパートナーでした。

会長としての任期が終わりつつある今、この８年間皆さんのボランティアである会長として務めさせていただいたことに感謝を申し上げます。私は感謝と誇りでいっぱいです。通訳という職業を支える皆様のビジョンと決意のおかげでより多くの通訳者協会が設立されましたし、WASLI 理事会メンバー及び世界中の WASLI 個人会員によって、より多くの通訳者教育がなされました。素晴らしい地域会議、国際手話評価システムの継続的発展、そして近くにあるアドバイザー委員会と職業的行為評価システムの追加です。そして我々WASLI がスイスに法的所在地を置く最終段階に入ったことに私は興奮しています。非常勤のスタッフを完備し、契約したスタッフを２人にするのです。WASLI が法的なサービスを確保する前に法的な必要事項が満たされていることを確認するために、関連法規を整理する援助をしてくださったジョー・マクラフリン博士に感謝申し上げます。ヘザー・ショアズにも感謝します。我々のすべての会員申込みをコーディネートしてくださいました。そしてアイリーン・ストラスリーは WASLI チームに加わってくださいました。

2015 年の理事会が 2015-2019 年の戦略的計画を開発したとき、理事会はいくつかの目標があったことを思い出します。地域の発展に焦点を当てること、通訳のための高い倫理的及び通訳の教育水準､国際手話の高レベルの仕事を含め､国際手話通訳そして法的所在地の獲得です。私は誇りをもって言います。これが我々がまさしく成し遂げたことです。そして皆さんが成し遂げたことです。理事会の皆様、ろう通訳アドバイザー、地域代表の皆様、これらの目標を追い求めてくださってありがとうございます。我々の職業そして、我々の協会内の確実な発展に結実しました。私たちは財政的な責任を負ってきました。そして過去最強の財政的な構図へと到達しました。WASLI2019 会議の計画は我々が成し遂げてきた戦略への証言です。寄付による支援から 52 カ国の登録をいただくことにいたるまで。まさに初めて、世界中の通訳者や団体からの寛大な寄付のおかげで、イランや北朝鮮から代表団を迎えます。

WASLI の成長に貢献し、参画するこの大きな役割を担わせていただいてありがとうございます。過去４年間の我々の成功に貢献された方々皆様のお名前を出せればとは思うのですが、また別の一大報告になるでしょうし、時間、才能、お金、または指導力を我々のいずれかの事業に何らかの方法で貢献し WASLI を支えてくださったなら、心からお礼申し上げます。世界中で手話通訳の職業を推進するために個々の通訳者会員の方々や各国協会の方々と仕事をすることは、大いなる特権であり、名誉でありました。過去４年間にわたって、以下の国々を訪れ、通訳者やろう者から学ぶ喜びを得ました：ブラジル、コロンビア、ペルー、パナマ、朝鮮民主主義人民共和国、マカオ、サウジアラビア王国、アラブ首長国連邦、ロシア、ハンガリー、ポルトガル、日本、セイシェル、シンガポール、リトアニア、ヨルダン、バーレーン、イギリス、ベルギー、ギリシャ、クロアチア、フランス、オーストラリア、フィジー、ニュージーランド、アメリカ合衆国、メキシコ、トルコ。そして我らの名誉会長リズはタイ、インド、そしてイランを訪問してくださいました。通常のニュースレターや SNS で私たちの最新情報を読んで楽しんでいただけましたか？皆様とともにそして WASLI2019 で WASLI の業績をお祝いするのは楽しいでしょうね。

数字で表すと

1 地域協会
32 ビデオメッセージ
39 理事会
32,000＋通訳者
4WFD との共同声明　72 カ国以上訪問
43 国別協会
15,000 以上の e メール
5 対面理事会
＄35,000 会議による寄付
2,020 ツイート
629 以上発表
17 地域大会
＄20,000 以上の寄付
14,000 フェイスブックにいいね

会議、発表

39 理事会
5 対面理事会—フィジー、パナマ、アテネ、イスタンブール、パリ
629＋理事会メンバー及び名誉会長が過去 4 年間でした発表
32 ビデオメッセージ・発表
17 地域会議
パナマ、フィジー、バンコク、シンガポール、モスクワ、ドバイ、ヨルダン、ヨハネスブルグ
ラテンアメリカ 2
アジア 2
トランスコーカサス 1（efsli、WASLI と共催）
アフリカ 1（AFSLI と共催）
ヨーロッパ 4 efsli が例年会議を主催
アラブ諸国 6

集めたお金

35,000 ドル　会議
20,000 ドル　代表団支援

会員

43 国別協会
1 地域協会（efsli）
WASLI の国別協会または地域協会として代表を送る 32,000＋通訳者

４つの WFD との共同委員会

・国際手話通訳者認定諮問委員会（ISAAB）クリストファー・ストーン博士、クラーク・デンマーク、キャロル・リー・アクイリン、リズ・スコット・ギブスン
・職業的行為評価委員会　委員名非公開（ろう者 3 名、聴者 2 名）
・テクノロジー　アバターの問題
・FAQ（よくある質問）国際手話　ロバート・アダム博士

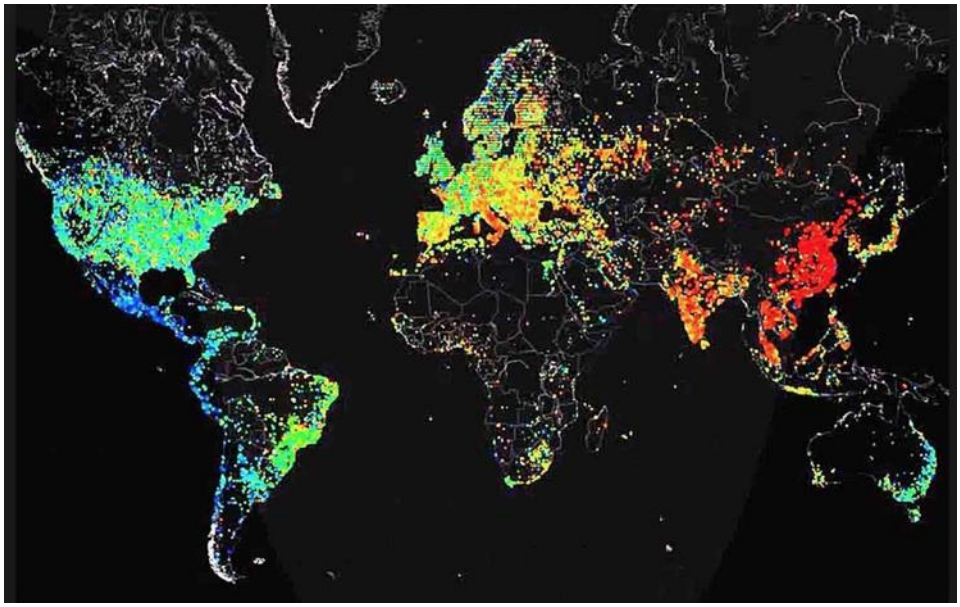
通信

15,000 通以上の E メール

52,000 時間以上のボランティア

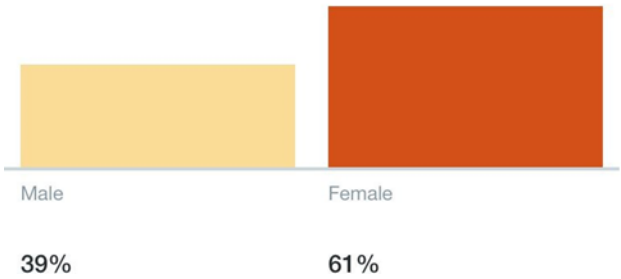
Page 13

理事会メンバーが訪れた国 72 以上



2011 年 1 月（アカウント開設）以来のツイート

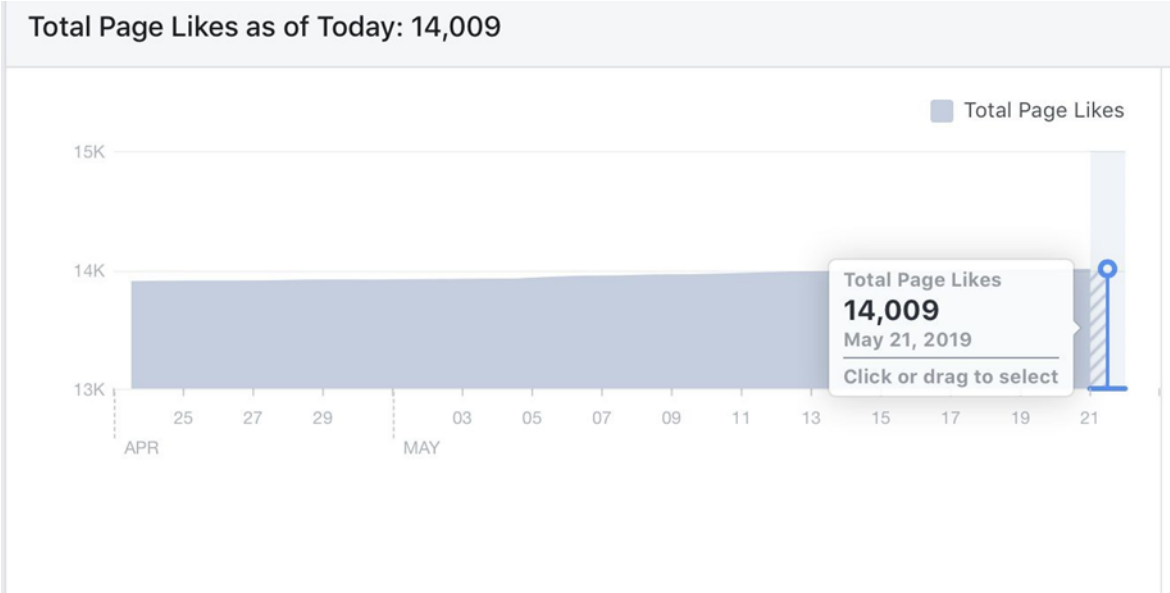
ツイッター：性別
Gender



男性 39%　女性 61%

Page 14

フェイスブックページ　いいね　14,000 以上



総計　14,009
スザンヌ・アーリックとパトリック・ガラソ、我々のソーシャルメディア指導者に大変感謝！

WASLI 副会長

任期末総括報告
ジョゼ・エジニウソン・ジュニオール

名誉なことに 2015 年 7 月イスタンブールでの総会で理事会に選出され、WASLI 副会長に就任しました。その時以来一生懸命デブラ・ラッセル会長の活動を支え、我々の協会の運営に理事会メンバーとともにあたり、会員とともに活動において WASLI の代表として働いてきました。過去 4 年間、WASLI 理事会とのインターネットミーティングに積極的に参加し、イスタンブール（2015 年）、アテネ（2016 年）、パナマ（2017 年）、フィジー（2018 年）そしてパリ（2019 年）の対面理事会に出席してきました。

重要な運営上の活動は以下の通り：
1. 理事会での決議
2. 地域代表との通信
3. 翻訳コーディネーターの支援
4. 国会員との連絡
5. 「アクセシビリティ手話通訳、翻訳とテクノロジーの発展」についてのポジションペーパーでの WFD との協働

私が WASLI 副会長として参加したイベントのいくつかは以下の通り：

場所	とき	イベント
ブラジル	2016 年	高等教育におけるろうインクルージョンについての第 2 回会議
ギリシャ	2016 年	ヨーロッパ手話通訳者フォーラム
パナマ	2017 年	第 3 回ラテンアメリカ手話通訳者会議
コロンビア	2017 年	第 1 回コロンビア手話通訳者及び盲ろう通訳者全国会議（ビデオ）
コロンビア	2017 年	第 1 回カリブ海手話通訳者会議
コロンビア	2017 年	手話通訳者ワークショップ
フィジー	2018 年	WASLI オセアニア会議
メキシコ	2018 年	ろう運動のためのバイリンガル教育（ビデオ）
ブラジル	2018 年	翻訳及び手話通訳の大学院の学生、教授との会議
コロンビア	2018 年	第 1 回国際インクルージョンシンポジウム
チリ	2018 年	手話通訳者ワークショップ
ブラジル	2019 年	地域での手話会議—Acatils(サンタカタリーナ手話通訳者翻訳者協会)
フランス	2019 年	WASLI 会議

以下に写真：WASLI 代表として出席したイベントの一部

Page 17

副会長としての活動のいくつかは会員スタンプの作成、イベントの写真の整理、イベントのソーシャルメディアの運営（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）、そして WASLI のビデオ録画のようなコミュニケーションや WASLI のブランディングに関わるものでした。

加えて、WASLI ニュースレターの編集長をして８つの号の出版の責任者を務めました。すべての会員、WASLI 理事会、ボランティアの方々、地域代表や同僚の皆さんにこの８年間（地域代表として４年、副会長として４年）の仕事、そしてたくさん学ばせていただいたことに感謝します。毎日の献身、全ての活動、全ての会議、全てのことに、我々の職業に大いなる献身そして愛をこめ、我々の原則に敬意をこめて。次の４年間、我々の WASLI がさらに大きくなり新しい理事会が大成功されますように。WASLI よ永遠なれ！

WASLI 事務局長

任期末総括報告
イサベル・ヘイエリック

2015 年にイスタンブール（トルコ）で WASLI 事務局長に選出されました。その日から今日まで（2018 年 2 月から同年 12 月までの中断をはさんで）一生懸命にその任務を果たしてきました。事務局長として当然期待されている仕事として行ってきたことは以下の通りです：

１．7000 通以上の e メールの処理
組織としての WASLI は明らかにますます目に触れるようになってきています。この４年間で世界のあらゆる地域からくる 7000 通以上のメールを返信、転送、再返信など処理をしました。

２．30 回以上の理事会
理事会は 1 カ月に 1 回インターネットで開催することを目指しています。この期間を見ると、30 回以上の会議が組織され、開催され、会議録を私が作成し、理事会メンバーと地域代表に届けられました。これらすべては WASLI ドロップボックスに保管されました。

３．ファイリングシステムの維持
WASLI の活動をきちんと文書に残すために、ドロップボックス・ファイリングシステムを運営しました。理事会メンバーは重要な文書を私に送れます。これらの文書はファイルされ保存されます。この中には覚書、契約、政策文書、報道関係なども含まれます。

４．対面会議
WASLI 理事と地域代表は１年に１回対面会議を行います。2015 年にはイスタンブールで、2016 年にはアテネで、2017 年にはパナマで、そして 2018 年にはフィジーで行いました。現在のメンバーで最後の理事会を 2019 年にパリで行います。私は最初の 3 回の対面会議に出席し準備をしました。最終理事会の担当でもあります。この仕事に含まれるのは：議題の整理、会場の確保、スケジュールの作成、そして会議録の提供です。

５．８つの WASLI ニュースレター
私の任期中、ニュースレターに投稿し、また編集者の一人を務めました。

６．メイルチンプ・キャンペーン
事務局長として組織が受け取る情報をみなさんに提供する責任があります。新しい協働のニュース、研究への参加の呼びかけ、（財政的）支援のお願い、新しい WASLI 政策文書の共有など私からどっと情報が届いたことでしょう。いい意味で。

７．WASLI の代表として
数多くの場で私は事務局長として WASLI を代表してきました。正式な場も砕けた場もありました。私たちのやっている仕事を推進する機会があれば、我々のネットワークを広げるために尽力しました。バルセロナでの ACILS（カタルニア手話通訳者協会）の 25 周年行事は非常に良い思い出です。協働の強さを話しました。ヨーロッパ議会での言葉の戦争ヒアリングへの WASLI 事務局長としての参加は、RED　T などの組織への進行中の支援へとつながりました。さらに、手話通訳者協会のために WASLI について記事を書いてきましたし、我々の職業の職業化についてそしていかに国際的視野が重要かについてのパネルディスカッションに参加しました。

８．WASLI 会議
イスタンブールでの WASLI2015 に出席しました。そしてスザンヌ・アーリックと共に科学委員会の議長を務めました。WASLI2019 パリ会議に出席します。下見と大会プログラムの確認をしました。

９．　WASLI2015 会議録
2017 年に WASLI は WASLI2015 の会議録を出版しました。編集はスザンヌ・アーリックと私です。

感謝の言葉
ほとんどの皆さんとはこの 4 年間どこかできっとお近づきになれたと思います。E メールで、フェイスブックで、WhatsApp で、直接お目にかかって、、、皆さんのお役に立ててうれしいです。質問に答え、お探しの答えのある所に導いたり、人々を結び付けたり。すべては我々の共同体が成長し、維持していくために。この仕事を任せていただいてありがとうございました。

WASLI 会計

任期末総括報告
スーザン･エマーソン

WASLI の理事役員として私たちの仲間の代表になり、才能と熱意のある人々と活動できたことは名誉な、また楽しいことでした。会計としての 2 期の間、デブラ･ラッセル、イサベル・ヘイエリック、ナイジェル・ハワードそしてアンジェラ・マーレイからの友情と支援に感謝いたします。たくさんのことがありましたが、1 つ特記したいのは、2018 年のフィジーでの WASLI オセアニア会議です。10 年以上前に発案されましたが、実行委員会、スポンサー、参加者、発表者、そして太平洋諸島の通訳者、ろうコミュニティのおかげで実現することができました。WASLI オセアニア会議の前後を通じて獲得できた絆をもとに、今後も太平洋諸島の仲間と共に支えあっていきます。

会計 2 期目には､毎月のオンライン理事会と､毎年の対面会議に参加しました｡トルコ(2006)、パナマ(2017)、フィジー(2018)、フランス（2019）。会議で四半期の会計報告を示すのが役割でした。会議の時以外には、会員管理担当者、地域代表、ウェブ管理者とのやりとりがありました。

会計の役割以外には、写真、ビラ、映像を作成してソーシャルメディアへの働きかけをしました。この活動は、2019 年 WASLI パリ会議に至るまで続いています。WASLI 国会員の新制度（３年分支払うと１年分が無料）を作り出せたのもよかったです。また、WASLI パリ会議の実行委員会で、スポンサーシップ、途上国への助成金、小委員会での通訳にも関わっています。

Page 21

WASLI の会計状況は、効率を考えた予算立て、会員数の多さ、寄付、大会登録料やスポンサーシップ、また会員による WASLI へのボランティアのお陰で、安定したものになっております。主な支出は、WASLI の代表として大会や関連行事に出席する理事の旅費です。会長が WASLI を代表して出席する WFD や国連などのハイレベルな会議での通訳も必要となります。代表理事は、国際的な通訳者会議や行事に合わせて、可能であれば１年に１度は会って会議をすることになっています。その他の支出としては、ウェブ管理費、会員データベース管理費、WASLI 主催行事の前払い金などです・

デブラ・ラッセルの会長としての最後の任期ですが、デブラは、人をつなぐこと、人を勇気づけること、貢献、傾聴をすることで、WASLI にたくさんのものをもたらしてくれました。ともに活動した任期中、彼女はすばらしい指導者であり、友人、盟友でした。世界の宝であり、功績は世界中の通訳業界に永久に影響を与え続けてくれることでしょう。ありがとうデブ

January 1 – June 30, 2015

1ドル＝107円で換算 1ポンド＝136円で換算		PayPal 米ドル円換算	Pay Pal 英ポンド円換算	HSBC 英ポンド円換算	HSBC 2 英ポンド円換算
期首残高		**$ -**	**¥ 112,768**	**¥ 4,400,156**	**¥ 275,164**
収入					
会員					
	国	¥ 249,845	£ -	£ -	
	団体	¥ 2,675	£ -	£ -	
	個人	¥ 545,165	£ -	£ -	
寄付		¥ 273,920	£ -	£ -	
後援		¥ 151,161	£ -	¥ 811,031	
出版物		$ -	£ -	£ -	
PayPalから振替			¥ 6,487,905	¥ 6,202,668	
会議		¥ 7,241,225	£ -	¥ 270,295	
雑収		¥ 2,538	£ -	£ -	
投資振替				£ -	£ -
利子					¥ 80
収入合計		**¥8,466,529**	**¥ 6,487,905**	**¥ 7,283,996**	**¥ 80**
支出					
会議		$ -	£ -	¥ 2,654,977	
事業 - Website		$ -	£ -	£ -	
重役会		$ -	£ -	£ -	
	交通費	$ -	£ -	£ -	
手数料					
	HSBC			¥ 30,402	
	PayPal	¥ 362,529	£ -		
PayPal 振替		¥ 8,093,651	¥ 6,202,668		
返済				£ -	
雑費		¥ 10,347	£ -	¥ 132,897	
投資振替				£	£ -
支出合計		**¥ 8,466,529**	**¥ 6,202,668**	**¥ 2,818,277**	**£ -**
期末残高 6月30日 2015		**¥ 0**	**¥ 398,005**	**¥ 8,865,875**	**¥ 275,224**

純資産計	USD	英ポンド（日本円換算）
	$ 0.00	¥ 9,539,125

January 1 – December 31, 2016

1ドル＝107円で換算 1ポンド＝136円で換算	PayPal 米ドル円換算	Pay Pal 英ポンド円換算	HSBC 英ポンド円換算	HSBC 2 英ポンド円換算
期首残高	**$ -**	**¥ 11,795**	**円 6,042,496**	**円 275,326**
収入				
会員				
国	¥ 135,890	£ -	¥ 8,871	
団体	¥ 7,490	£ -	¥ 11,657	
個人	¥ 348,820	£ -	¥ 511	
寄付	¥ 34,561	£ -	£ -	
後援	¥ 31,030	£ -	£ -	
出版物	$ -	£ -	£ -	
PayPalから振替		¥ 521,948	¥ 486,024	
会議	¥ 30,495	£ -	£	
雑収	¥ 16,799	£ -	£ -	
投資振替			£ -	£ -
利子				¥ 165
収入合計	**¥ 605,085**	**¥ 521,948**	**¥ 507,065**	**¥ 165**
支出				
会議	$ -	£ -	£ -	
事業 - Website	$ -	£ -	£ -	
重役会	$ -	£ -	¥ 1,033,627	
交通費	$ -	£ -	£ -	
手数料				
HSBC			¥ 34,544	
PayPal	¥ 32,751	£ -		
PayPal 振替	¥ 572,333	¥ 486,013		
返済			£ -	
雑費	$	£ -	¥ 181,948	
投資振替			£	£ -
支出合計	**¥ 605,085**	**¥ 486,013**	**¥ 1,250,120**	**£ -**
期末残高 12月31日 2016	**¥ 0**	**¥ 47,730**	**¥ 5,299,441**	**¥ 275,492**

純資産	US	英ポンド（日本円換算）
	$ -0.00	¥5,622,664

January 1 – December 31, 2017

1ドル＝107円で換算 1ポンド＝136円で換算	PayPal 米ドル円換算	Pay Pal 英ポンド円換算	HSBC 英ポンド円換算	HSBC 2 英ポンド円換算
期首残高	$ -	¥ 47,730	¥ 5,299,441	¥ 275,492
収入				
会員				
国	¥ 213,197	£ -	£ -	
団体	¥ 19,260	£ -	¥ 180,594	
個人	¥ 370,755	£ -	£ -	
寄付	¥ 171,025	£ -	£ -	
後援	$ -	£ -	£ -	
出版物	¥ 21,935	£ -	£ -	
PayPalから振替		¥ 725,021	¥ 638,520	
会議	$ -	£ -	£ -	
雑収	$ -	¥ 1,981	¥ 67,343	
投資振替			£ -	£ -
利子				¥ 118
収入合計	¥ 796,173	¥ 727,002	¥ 886,457	¥ 118
支出				
会議	$ -	£ -	¥ 101,086	
事業 - Website	$ -	£ -	£ -	
重役会	$ -	£ -	¥ 1,214,814	
交通費	$ -	£ -	£ -	
手数料				
HSBC			¥ 46,104	
PayPal	¥ 43,280	£ -		
PayPal 振替	¥ 752,892	¥ 679,368		
返済			£ -	
雑費	$ -	£ -	¥ 451,495	
投資振替			£ -	£ -
支出合計	¥ 796,173	¥ 679,368	¥ 1,813,500	£ -
期末残高 12月 31 日 2017	¥ 0	¥ 95,364	¥ 4,372,398	¥ 275,610

純資産	USD	英ポンド（日本円換算）
	$ -0.00	¥ 4,743,374

January 1 – December 31, 2018

1ドル＝107円で換算 1ポンド＝136円で換算		PayPal 米ドル円換算	Pay Pal 英ポンド円換算	HSBC 英ポンド円換算	HSBC 2 英ポンド円換算
期首残高		**$ -**	**¥ 95,364**	**¥ 4,372,398**	**¥ 275,610**
収入					
会員					
	国	¥ 49,800	£ -	¥ 34,625	
	団体	¥ 21,400	£ -	£ -	
	個人	¥ 590,105	£ -	£ -	
寄付		¥ 24,075	£ -	£ -	
後援		$ -	£ -	¥ 40,800	
出版物		¥ 4,280	£ -	£ -	
PayPal から振替			¥ 2,180,736	¥ 2,015,962	
会議		$	£ -	¥ 3,231,253	
雑収		¥ 38,026	£ -	£ -	
投資振替				£ -	£ -
利子					¥ 311
収入合計		**¥ 827,686**	**¥ 2,180,736**	**¥ 5,322,641**	**¥ 311**
支出					
会議		$ -	£ -	¥ 2,419,522	
事業- Website		¥ 37,450	£ -	£ -	
重役会		$ -	£ -	£ -	
	交通費	$ -	¥ 402	£ -	
手数料					
	HSBC			¥ 61,920	
	PayPal	¥ 45,010	¥ 124,437		
PayPal 振 替		¥ 745,226	¥ 2,151,261		
返済				£ -	
雑費		$ -	£ -	¥ 62,546	
投資振替				£ -	£ -
支出合計		**¥ 827,686**	**¥ 2,276,101**	**¥ 2,543,990**	**£ -**
期末残高 12月31日 2018		**¥ 0**	**£ -**	**¥ 7,151,050**	**¥ 275,922**

純資産	USD	英ポンド（日本円換算）
	$ -0.00	¥ 7,426,972

Page 26

WORLD FEDERATION OF THE DEAF

WFD と WASLI の 4 年間の成果

2016 年－2019 年アジェンダ

1. WFD／WASLI の覚書が世界中で同様の多くの協定締結に結び付いた。
2. 国際手話通訳者認定制度
3. 第 2 国際手話通訳者認定制度
4. WFD／WASLI 国際手話認定諮問委員会
5. 方針と手順
6. 国際手話認定諮問委員会設立
7. WFD／WASLI 共同声明見直し
8. 国際盲ろう者連盟との覚書
9. 国際手話に関する質問と回答集
10. CRPD（障害者権利条約）翻訳のガイドライン（各国手話）
11. WASLI 通訳者教育ガイドライン見直し
12. WASLI／WFD の養成／ワークショップでの協働
13. 共同声明への協働

Page 27

WFD／WASLI プレス発表

偽通訳者－南アフリカ、ペルーなど

国連への WFD と WASLI の共同議案提出

CRPD（障害者権利条約）第 13 条に関する国際連合人権高等弁務官事務所（OHCHR）の報告書に対する WFD と WASLI の共同議案提出
CRPD の危険な状況及び人道上の緊急事態に関する OHCHR の報告書に対する WFD、IDE（国際ろうエマージェンシー）、WASLI の議案提出
第 13 セッションのモンゴル観察の結果に対する WFD と WASLI の共同議案提出
第 13 セッションのドミニカ共和国観察の結果に対する WFD と WASLI の共同議案提出
第 9 条に関する総評案第 2 番に対する WFD と WASLI の共同議案提出

WFD と WASLI の責務

WFD と WASLI の国連での手話通訳サービス保証と活用のためのガイドライン作成
WFD と国連行事での国際手話料金ガイドライン作成
国際手話通訳者認定方針とガイドライン作成
WASLI と WFD－自然災害や大規模非常事態時に手話使用ろう者に関する情報共有

WFD－WASLI 共同開発事業

北朝鮮－KFD（ろう協）と SLIAK（通訳者協会）との覚書の進展

世界ろう者会議に先立ち開催される WASLI 会議

・スペイン（2007 年）
・南アフリカ（2011 年）
・トルコ（2015 年）
・フランス（2019 年）

WFD／WASLI 会議

各国での対面会議 14 回開催

WFD／WASLI ワークショップ

各国でのワークショップ 40 回開催

WFD／WASLI 基調講演

各国での基調講演 15 回

Page 29

パートナーからのメッセージ

WFD 理事長コリン・アレン氏

WORLD FEDERATION OF THE DEAF

Page 31

国連ジュネーブ事務局
通訳サービス英語部局長レベッカ・エジントン氏

UNOG
THE UNITED NATIONS
OFFICE AT GENEVA

Page 32

FIT 会長ケビン・クアーク及び
FIT-WASLI 渉外アレクサンドラ・ヤンシャー

（日本語訳割愛）

ろう通訳アドバイザー報告

任期末総括報告

ナイジェル・ハワード

ろう通訳者の定義—継続中

現時点でろう通訳者の定義のドラフトはある。

リトアニア（アルナス・ブラジンスカス）日本（川上惠）ノルウェイ（トゥルルス・イゲセッツ）アルゼンチン（ファン・ドルエッタ）の意見をもとに改訂・変更予定

活動：

2016 年 6 月 パナマ、パナマ市：デフフッドコース・ワークショップとろう通訳養成 1 週間

2016 年 10 月米国、レキシントン：通訳指導者会議—ろう通訳者とのサイドミーティング

2017 年 2 月日本、東京：ろう通訳者とは？何故ろう通訳者か？

2017 年 7 月パナマ、パナマ市：WASLI・ラテンアメリカ通訳者会議

2017 年 8 月フランス、トゥールース：ヨーロッパ手話通訳者フォーラムーろう通訳者プレカンファレンス・ワークショップ：「どうした？」欧州ろう通訳者とのサイドミーティング

2017 年 10 月米国、パスコ：関係

2017 年 10 月南アフリカ、ケープタウン：ろう通訳者と関係者の非公式な集まり（1 日）

2018 年 1 月：米国、ナッシュビル：ろう通訳—何なのか？

2018 年 1 月：米国、オースティン：ろう通訳者のメンタルヘルス

2018 年 3 月米国、ミネアポリス：医療現場におけるろう通訳

2018 年 5 月中国、マカオ：国際手話養成（スーザン・エマーソン、川上惠と共同）－WASLI・WFD アジア地域事務局共同事業

2018 年 5 月 UAE、ドバイ：発生頻度５％内

2018 年 8 月フィジー、ナンディ：WASLI オーストラリア・オセアニア会議及びフィジーろう通訳者とのサイドミーティング（２回のオンライン研修と最大１週間の対面研修を提供するための議論）

2018 年 10 月ブラジル、フロリアノポリス：第 6 回ブラジル手話ポルトガル語翻訳通訳全国会議。ブラジルろう通訳者及び国際手話通訳者とのサイドミーティング

2018 年 10 月米国、ソルトレークシティ：通訳指導者会議—ろう通訳者とのサイドミーティング

2018 年 10 月コロンビア、メデジンとバランキージャ：通訳トレーニングとプレゼン

2019 年 2 月オーストラリア、メルボルン：共同通訳（ろう通訳者と非ろう通訳者の協同のあり方）

2019 年 4 月コロンビア、メデジン：通訳の役割とろうコミュニティとの関係

2019 年 4 月オーストラリア、ブリスベーン：ろう通訳とその役割及び責任

2019 年 6 月米国、モンマスろう通訳者会議

2019 年 7 月フランス、パリ：WASLI プレカンファレンス・ワークショップ（川上惠と共同）

対応：
英語よりも国際手話が好まれたためマルコポーロを通してのものが大半であった。
-権利擁護と通訳者の役割の明確化
- ろうコミュニティにおけるろう者の役割
- ろうでない通訳者と同等の報酬が得られるか？
- 共同通訳の責任
- ろう通訳者が不可欠となる状況
- いくつかのもめごとの仲裁(例：ろうでない通訳者が報酬を得ているのにろう通訳者は無償である、ろうでない通訳者だけが指導をしている、ろう通訳者が権利擁護の役割を混同している、ろう通訳者がリードすることが前提になっている、など)
- ろう通訳者養成及び／またはワークショップの開発のための支援とリソースの提供
- 通訳技術（共同通訳、現場処理能力など）
-倫理的説明

多くの国（オーストラリア、リトアニア、コロンビア、南アフリカ、日本、中国（香港、マカオ）など）で、ろう通訳者のワークショップの資料や国際手話のワークショップの資料を提供した。

特別なイベント：
2019 年 3 月コリン・アレンとレベッカ・ラッドを招き、2 つの募金ワークショップを開催した。

感謝：
世界中で私たちの知識や経験、英知を共有する多くの機会を得たことに感謝する。

ろう通訳者の定義

通常基本言語となる母国語が流暢であり、適切な通訳技術を持つろう者と定義する。複数の手話のある国もある。たとえばカナダの場合であれば、アメリカ手話 ASL とケベック手話 LSQ である。そして自国の言語、例えば英語やフランス語などの基本的な理解力があることが必要である。

ろう通訳者はろうではない通訳者と同等の多種多様な場面で、言語的文化的ニーズに柔軟に対応する能力も持ち合わせていなければならない。しかし、ろう通訳者を含めることが望ましい場面が数多くある。こうした状況の多くは、メンタルヘルスや、医療、司法場面、テレビの緊急発表などである。また、地域や言語の違い、標準化されてない固有の手話やジェスチャーなど様々なコミュニケーション様式である場合などもある。

ろう者はメッセージが効果的に伝えられるようにするための優れたコミュニケーション能力を持っている。さらに、ろう者には「ろう者の特殊な言語的知識」（DELK）がある。（Gile 1995; Russell & Stone, 2014?)。ろう通訳者とろうでない通訳者はどちらも、特定の状況においてろう者とろうでない者の間で効果的な会話が行われるようにする共同通訳の技術を開発している。ろう通訳者とろうでない通訳者の協同で行う通訳の原動力は、彼らが等しく行動し、依頼者が彼らの主な狙いとすることである。

説明:

ろう通訳者の役割と責任は非常に類似しており、自国の手話通訳者の倫理綱領や行動規範を遵守しなければならない。例えば、カナダでは、それはカナダ手話通訳者協会(CASLI – www.casli.ca)であり、オーストラリアではオーストラリア手話通訳者協会(ASLIA – www.aslia.com.au)であり、英国ではイギリス手話通訳者協会(ASLI –www.asli.org.uk)である。権利擁護の役割は業務の範囲外である。

ろう者であり自国の手話を流暢に操るからというだけで、自動的に通訳者になるだけの適切な資質を持ち合わせているということにはならない、ということは心にとどめておかなければならない。

通訳教育プログラムは、ろう者が通訳者の学位を取得するための最良の方法である。しかしながら、現在のところ、経済的な問題、雇用機会が限られていること、財政的支援の不足、専門教育など、さまざまな理由により実現の見込みはない。世界的にもこのようなろう通訳者教育プログラムはほとんどない。したがって、ほとんどの人が一連の研修やワークショップを通して必要なスキルや技術を習得する。どんな職業でも、ろう通訳者の定義、役割、責任は進化し、適応し進歩し続けている。

Page 37

参考文献:

ボドロー, P. (2005). 「ろう通訳者」 T. ジャンツェン(編), 「手話通訳のトピック」(pp.323–353). フィラデルフィア: ベンジャミン.

フォースタル, E. (2014).「ろう通訳者: 通訳過程の力学」 R.アダムズ, C. ストーン, S.コリンズ、M. メッツァー (編) 「職場のろう通訳者：国際的な洞察」 (pp.29-50). ワシントン,DC: ギャローデット大学出版

フォアスター, E. (2005). 「新しい専門職：ろう通訳者とその見解とトレーニングの経験」 シンシア・ロイ (編) 「手話通訳と通訳教育:研究と実践の方向」(pp. 235-258).

ガイル, D. (1995). 「通訳者・翻訳者のトレーニングのための基本概念とモデル」アムステルダム、オランダ：ジョン・ベンジャミン

ラッセル, D. (2017). 「ろう者と非ろう者の通訳チーム：職業実習の複雑さ」クリストファー・ストーン＆ロレイン・リーソン(編) 「通訳と認識の政治」:ニューヨークシティ

ストーン、クリストファー (2009). 「ろう者の翻訳規範に向けて」. ワシントン, DC: ギャローデット大学出版

ストーン, C. & ラッセル, D. (2013).「国際手話による通訳：ろう通訳者と非ろう通訳者の決定」B.コステロ, R. ショー, M.スーマン (編), 「WASLI 大会議事録」 100-118.

ストーン, C., & ラッセル, D. (2014). 「会議通訳と通訳チーム」R. アダム, C. ストーン, S. コリンズ、 M. メッツァー (編) 「職場のろう通訳者：国際的な洞察」ワシントン,DC: ギャローデット大学出版. 140-156.

サッグズ, T. (2012) 「ろう者の見方：手話通訳における文化の尊重」 ストリート・レベレッジ http://www.streetleverage.com/2012/08/a-deaf-perspective-cultural-respect-in-sign-language-interpreting/

ホームページ:

ろう通訳者インスティテュート: http://www.diinstitute.org/

地域代表報告

WASLI アジア

地域代表期末レポート
（2018.08～2019.04）
宮澤典子　アジア地域代表

アジア各国の状況把握

「手話通訳状況に関するアンケート」のアップデートを呼びかけ、まとめたものをアジア各国に報告した。これによって、アジアの情報共有を図った。PNASLI（フィリピン）と KASLI（韓国）が WASLI 国会員として登録した。モンゴルは 2017 年に 3 か年分の会費を支払うことを希望していたが、手続きがスムーズに進まず 2017 年会費を支払うだけになっている。現在、2018-2019 年会費の納入を進めている。

宮澤典子は梅本悦子の引退後、2018 年に WASLI 理事会に加わった。私達は梅本の WASLI とアジア地域に対する長年にわたる貢献に感謝する。

アジア手話通訳者会議

アジア手話通訳者会議を下記のとおり開催した。（以前、WASLI ニュースレターの記事として報告済み）

会議の開会にあたり、WASLI 会長であるデブラ・ラッセル氏からメッセージビデオを送ってもらった。また、会議２日目には、WASLI 名誉会長であるリズ・スコット・ギブソン氏に講演「手話通訳の発展」をお願いした。

＊日時：2018 年 12 月 11 日（火）～14 日（金）

＊場所：タイ・バンコク　バークレーホテル

＊参加状況：合計 22 名（インド代表 2 名・オブ 1 名、インドネシア代表 2 名、韓国代表 2 名、タイ代表 2 名、日本代表 2 名・オブ 3 名、ネパール代表 2 名、マカオ代表 2 名、ベトナム代表 2 名、WASLI アジア代表代行 1 名、国際手話通訳者 1 名）

会議要旨：

（1）アジアの課題

・情報共有の要望：共通のプラットフォームで情報共有やディスカッションを

・学び：通訳技術、国際手話/通訳、事例検討などのワークショップ。組織化/組織強化について。

・啓蒙啓発：行政交渉のノウハウ/材料（参加証明書）、通訳報酬の充実、

・国際手話：国際手話の習得、国際手話通訳養成。Web によるトレーニング。

（2）アジア会議のあり方

・名称を会議当初の名称（e.g. Sign Language Interpreters Meeting in Asia 2018 アジア手話通訳者会議）に戻すことになったが、‘WASLI-Asia’を使いたいという意見あり。

・アジア会議の参加資格について

WASLI 国会員・準会員の入会を勧めながら、アジアの手話通訳者が多数集まれる会議にしたい。

・WFD RSA（WFD アジア地域事務局）は、会議に国際手話通訳の配置を考えない。ゆくゆくは参加者自らが国際手話で話せるようになってほしい。どうしても難しい場合、自前で通訳を手配すべきと考えている。今後、全員が国際手話ができるようになるまでは、参加者同士の協力でまかないたい。

（3）WASLI 関連

・「WASLI アジア」の組織化を要望する。複数名の役員をおき、手分けしてアジア支援をできるようにしたい。

・代表選出については、WASLI の指示のとおり手続きを進めたい。

＊参加支援：JASLI（士協会）がネパールに 500 ドルを支援した。NRASLI（全通研）がベトナムに 500 ドルを支援した。

Page 40

WASLI アジア地域代表（2019-2022）選出の手続き

現在、WASLI アジア地域代表不在のため、前任者の梅本に代わり、NRASLI の宮澤が代行として、次期地域代表選出手続きを進めた。

2018-09-13：WASLI 地域代表立候補の条件、国会員更新・入会、代表選出に関する今後のスケジュールをアナウンス。

2019-01-30：アジア地域代表立候補の呼びかけ

2019-04-26：立候補希望者（2 名）の経歴書と意向書をアジアの国会員に送付

現在、投票待ち。

最近のアジアの様子と課題

第 8 回アジア手話通訳者会議において情報共有の要望が出された。その後、Facebook や Messenger、LINE グループによる投稿などで、コミュニケーションをとるようになった。しかし、現在これらに登録しているのは、アジア会議に参加したメンバーが中心となっている。参加メンバーを拡大していくことが課題である。

WASLI ヨーロッパ

地域代表期末レポート
クリストファー・ストーン、ヨーロッパ地域代表

目標：

ヨーロッパと世界各国が自分たちの役割を十分に理解するために、efsli とより明確な関係を築くことに取り組む。
研修内容を開発するための能力開発資金の申請を検討する。
また、経験の浅いプロの通訳者に配慮した関係作りの機会を模索する。

Page 41

下記の会議やイベントで WASLI として出席した。

・efsli（ヨーロッパ手話通訳者フォーラム）理事と WASLI 欧州代表の共同役員として毎年 efsli 会議と年次総会（アテネ、トゥールーズ、ドゥブロヴニク）に出席。
・ブダペストで開催された WFD 会議に出席。
・2019 年 7 月にフランスのパリで開催される WASLI 理事会に出席するとともに、WASLI 会議においてヨーロッパ代表として参加。

今期の到達点：

・efsli と WASLI の関係をよりよく理解するために、年に 2 回、efsli と WASLI との直接（efsli 会議および WFD 会議など）またはスカイプを介して会議を開催した。これにより、efsli と WASLI の間の役割と責任をより明確にするために、覚書を策定した。WASLI ヨーロッパ代表は efsli 理事会の任務を 3 年間務め、efsli ろう通訳委員会運営のためにろう通訳事務連絡等を行った。これもまた efsli-WASLI に多大な貢献をした。

トレーニング、efsli との話し合いの後、次のことを実施した：

ろう者の難民とその通訳者のニーズ

私達がどうしたら一緒に働けるのかの議論が行われたが、今後も打開策を練る必要がある。efsli がいくつかの講座に取り掛かっており、講座内容をよりよく理解してもらうためにウェブサイトにアップした。興味をもってくれる人が今後活用してくれる期待を持っている。初めに、音声言語通訳者に活用可能な教材を検討するだろう。

国内の緊急事態に対処するために通訳者の準備

初めに、既存の教材を確認してからカリキュラムの概要やトレーニングの必要性を検討することをお勧めする。WASLI は、世界中の通訳者に関連性があるので FIT（国際翻訳家連盟）との共同作業の一環として、難民と共に働く通訳者のための国連研修資料を配布している。
これらは承認されたトレーニングであったため、当時はネットワーク作りも含むであろう能力開発については考慮しなかった。もし会員が興味を持ってくれれば、今後 4 年間で進めることができるだろう。

課題：

この 4 年間の論点の 1 つとして、WASLI ヨーロッパの代表者が 3 年間 efsli 理事を兼任し、ろう通訳連絡業務を担ったことである。これは efsli と作成された覚書に沿い今後 4 年間継続される。このことは efsli との明確な情報網があることを意味しているが、代表がイベントに参加すると、WASLI ヨーロッパ代表としてなのか、efsli 理事としてなのか、混乱を招く危険性もある。
ヨーロッパ地域には 38 の通訳者協会があるが、それらは基本的には efsli に加盟してはいても、WASLI にも加盟している協会ははるかに少ない。一つにはこれはコストの問題であり、4 年間の会費の削減の特典にもなりうる。主要な資金源ではなさそうであるから。
より多くの協会が直接会員になることによって、Efsli が地域の組織として会員であることにより間接的に代表するのではなく、より多くの組織を直接代表しているということができるようになる。また別の理由として、ヨーロッパ地域の中には、WASLI がヨーロッパに提供するものが明確でないという国協会の会員もいることがあげられる。会員になることによって得られるもの（国際的な代表についてや他の国際機関との協働方法など）について、もっと明確にする必要がある。
今後できることの 1 つは、Red T のように世界の通訳者に影響を与える事業や、FIT（国際翻訳家連盟）や AIIC（国際会議通訳者連盟）などとの協議について情報を広めることである。
現在、私たちは覚書に沿ってヨーロッパ内で行う作業を整理しているが、今後覚書の再検討もしながら同様のやり方が他の地域でも活用できるか、もしくは私たちが WFD と同様の活動を続けているかどうか確認するのが望ましい。
この関係の中で、欧州の問題が議論されている間は、EU と国連に関して efsli を尊重することになる。しかし、私たちは欧州評議会や国連加盟組織でもっと直接的に（潜在的には efsli と共同で）資金調達イニシアチブに参加することができるはずである。

新しい地域代表：

WASLI 理事会は、efsli との申し合わせに従い、次期ヨーロッパ代表の名前を伝えるよう efsli へ要請した。 ステファン・バレーレ、現在 efsli 副会長である。これによりまた明確な連絡体制がとれることになるはずだが、WASLI がヨーロッパとどのように積極的な協力体制を組みながら efsli とも共存できるか、よりよく理解するためにはより多くの議論が必要である。

WASLI 北アメリカ

地域代表期末レポート
リズ・メンドーサ　北アメリカ地域代表

進捗状況：

1. 2015 年 8 月 6 日～12 日、RID（全米登録手話通訳者協会）大会に WASLI 代表として出席。北米のボランティアリーダーとリーダーシップパネルに参加。

Page 43

2. 2016 年 4 月 22 日～23 日、ミネソタ州セント・ポールにて、ストリートレバレッジライブに WASLI 代表として出席。

3. 2016 年 7 月 5 日～9 日、NAD（全米ろう協会）の大会に WASLI 代表として出席。

4. 2016 年 7 月 5 日、WASLI 北米代表のために対面会議を開催。
   a. 出席者
      ・デビー・パーラメント（AVLIC　カナダ視覚言語通訳者協会）
      ・フランク・フォリノ（CAD-ASC　カナダろう協会）
      ・ダニエル・マヤ・オルテガ（AITLS　メキシコ手話通訳翻訳者協会）
      ・ドーン・ウィッチャー（RID）
      ・メルビン・ウォーカー（RID）
      ・デビッド・クイント・ポゾス（マノ・ア・マノ：トリリンガル（スペイン語、英語、ASL）通訳者協会）
      ・カーラ・ガルシア・フェルナンデス（マノス協議会（訳注：ヒスパニック系のろう協会））
      ・ロジェリオ・フェルナンデス（マノス協議会）
      ・リズ・メンドーサ（WASLI 北アメリカ代表）
   b. メキシコからの要望で議論した課題。
      ・メキシコは最新の通訳者試験のモデル要綱が必要。
      ・コロンビア（オンタリオ州の支援を受け）新たなプログラムを準備中。
      ・政府の援助の養成のための言語研究者との協力。
      ・メキシコのろうコミュニティと協働しなければいけない。
      ・協力を得られるキーパーソンの確保。

5. 2017 年 7 月 14 日～15 日パナマにて開催された WASLI 理事会に参加。
   a.北米会議の可能性について議論。前向きな意見もあったが、複雑な課題も見えてきた。

6. RID 第 4 地域会議の前に、メキシコ州アルバカーキで WASLI 北米会議を開催。RID 第 4 地区会議事前会議。
   出席者：リズ メンドーサ（WASLI 北アメリカ）
   ハワード・ローゼンブラム（NAD）
   カルメロ・ファル・ロドリゲス（マノ・ア・マノ）
   ダニエル・マヤ・オルテガ（AIT）
   ガブリエラ・マルティネス（AILSDF　メキシコシティ手話通訳者協会）
   ジェフ・ポロック（CSUN カリフォルニア州立大学ノースリッジ校教授、ゲスト）

Page 44

1. メール宛先の変更—AVLIC から CASLI（カナダ手話通訳者協会）に変更
2. ダニエル・マヤ・オルテガ
   danielmayaortega@gmail.com
   ait.lsmexico@gmail.com
   ガブリエラ・マルティネス
   ailsdf@icloud.com
   gabrielamarti@gmail.com

メキシコの組織について:

- FEMESOR（メキシコろう連盟）はメキシコシティーで運営 （訳注：WFD 加盟団体）
- メキシコろう連合（AIT との連携）
- メキシコろうスポール連盟
- 全国通訳者連盟

7. 2018 年 8 月 15 日～16 日フィジーで開催された WASLI 理事会に参加。

Page 45

8. 2018 年 8 月 17 日～19 日フィジーで開催されたオセアニア会議に WASLI 北米代表として出席。

9. WASLI 北米の各国組織及び関心のある組織とで年間 3～4 回のオンライン会議を開催 。

10. オンライン会議を行うために、GoToMeeting へ年会費を支払う 。

11. 2019 年 7 月 14 日～15 日にフランス、パリで開催される理事会に出席予定

12. 2019 年 7 月 16 日～19 日フランス、パリで開催される WASLI 会議に代表として出席予定

WASLI オーストラレーシア・オセアニア

地域代表期末レポート
アンジェラ・マーレイ　オーストラレーシア・オセアニア地域代表

過去の活動要旨

WASLI オセアニア地域会議が 2018 年 8 月 17－19 日にフィジーで開催された。これは、私の地域代表としての後半 2 年間の内の重要な役割だった。この会議の共同議長としてスーザン・エマーソンと共に多数の組織をまとめ、会議を開催せねばならなかった。会議は大盛況を収め、オセアニア、その他の地域からの参加者に大きなインパクトを与えることができた。協働と結束というテーマを、特に通訳者とろうコミュニティの間で確実に成し遂げられた。この様子は会議終了後のワークショップで、新興国の通訳者数名が、自分たちの役割や倫理がろう者の生活に影響するということに気づき始めたことなどにも表れている。

<u>オセアニアの協働</u>
ASLIA（オーストラリア手話通訳者協会）と SLIANZ（ニュージーランド手話通訳者協会）の会長は定期的にウェブ会議を行い、専門性の発展の機会や通訳の専門性に影響を及ぼす問題について共有している。SLIANZ は SLIAF（フィジー手話通訳者協会）の設立に関して支援を続けている。

<u>新地域代表：ジョネティ・ロコツバウ</u>
WASLI 理事、ASLIA、SLIANZ が次期 2019－2023 年のオセアニア地域代表者について検討した。以前この地域では、オーストラリアとニュージーランドの２カ国だけに登録のある全国通訳者協会が存在しており、交代でその任を担っていた。フィジー手話通訳者協会（SLIAF）が育ち、登録も目前であることから、フィジーで開催された会議での様子を鑑み、フィジーに次期地域代表の役割を提案した。

フィジーから一人の候補者、ジョネティ・ロコツバウの氏名を受け取った。彼女はフィジーで幅広い手話通訳経験を持ち、手話通訳者委員会（SLIAF の前身）の元議長でもある。

さらに、通訳者の管理、指導、養成などにも携わってきた。地域代表を務めていた間にはジョージ・メージャーと共に活動し、また、アンジェラ・マーレイと共にソロモン諸島で教師や手話通訳者、ろう学生の養成と支援にも関わってきた。彼女の通訳と専門性の育成に対する豊富な経験と情熱は、オセアニア地域代表候補者として相応しい。「太平洋地域の手話通訳者と関係を築いていくことにめざましい活躍をし、養成や支援につながるネットワークを構築することは間違いないと確信している。」と SLIAF 議長のパトリシア・ロコツイヌクは語っている。

さらに、ASLIA と SLIANZ は彼女を全面的に信頼し支援していく。また、前地域代表と ASLIA、SLIANZ 役員で構成したアドバイザーグループとともに、彼女への支援を申し出ている。その職務範囲については現在検討中。

太平洋地域ろう者に関するドラフト

太平洋の諸島国に暮らすろう児・者の状況には非常に大きなギャップがある。ろう児・者は、サービス提供不足も含む根本的なバリアにより発達の機会や自分たちの人権を享受することができない。
太平洋障害者フォーラムは、この地域のろう者の状況分析を行うために、エレナ・ジェンキン、フィリップ・ウォータース、クリシュニール・セン、ポール・ヒューストンを任命した。このチームはソロモン諸島、サモア、フィジーのろう者とその家族、政府や非政府組織などの関係者への助言などを行う計画に協働発展的働きかけを行った。さらに、この地域で、近隣太平洋諸島国のろう者組織代表者とも共に活動する個人や組織も助言を受けた。
計画レポート案で目立った主要テーマは以下の通り；
教育、手話通訳者、ろうコミュニティ／協会、雇用／生計手段、手話コミュニケーション.

状況分析計画は、以下により根拠の元となるものを集めることを目的とする

A) 手話の推進、開発、記録
B) 人権改革におけるインクルージョンの啓発
C) 早期介入と教育サービスの醸成と拡大

この提案は、介入は二段階以上で行われるべきものと推奨している：技術チームは、支援やサービス提供をする業務を地域組織へ引き継ぐ活動を遂行するために設立される。このチームは主要関係者に技術的アドバイスを与え、サービス提供を強化するための養成や能力開発も行う。

このチームは７つの提案をしている。２つ目の提案は、手話通訳者に焦点を当てている。通訳者の利用、アクセシビリティ、能力の向上を目指す。
太平洋地域全体で、１年間の手話通訳コースⅣ履修証明書による手話通訳証明書が提案されている。さらに有給雇用の機会創出による手話通訳者数の増加も提唱されている。

Page 47

次期の活動

SLIANZ 全国大会と総会がニュージーランド、ウェリントンで 7 月 6－7 日に開催される。
ASLIA 全国大会がオーストラリア、ニューカッスルで 9 月 18－21 日に開催される。
デフ・ビュー４がニュージーランド、オークランドで 9 月 13－15 日に開催される。
デフ・アオテアロア（ニュージーランドろう協会）は、2023 年 WFD 会議に立候補しているため、もし開催が決定すれば WASLI 会議もニュージーランドで開催になる可能性がある。SLIANZ はすでに開催に向けて準備を進めている。これはオセアニアの通訳者とろうコミュニティに非常に大きな影響を及ぼすこととなり、デフ・アオテアロアはすでにニュージーランド政府に対して太平洋諸国の参加のための支援を申し出ている。

個人的コメント

この４年間オセアニア代表を担ったことは、非常に大きな喜びであり、この役割によって多くを学び、またより広いオセアニア地域で受け入れられ、とても光栄だった。この地域の通訳者協会、特に SLIANZ には大きな支援をいただき感謝している。太平洋地域の通訳者の発展への熱意が増し、今後もジョネティを支援しつつ関わり続けることを楽しみにしている。

WASLI アフリカ

地域代表期末レポート
ナターシャ・パーキンス・マリコ　アフリカ地域代表

１．概要

2015 年 7 月-2019 年 7 月の任期レポートでアフリカ地域の活動を報告する。任期中の最終レポートであり、現在のアフリカ地域代表の任期が終わりを迎えることもあり、このレポートの内容はこれまでに提出済みのレポートのまとめとなる。

この５年間は、アフリカにおける WASLI の活動と意識に対して期待を上回るものがあった。カメルーン、ガンビア、ボツワナ、エスワティニでは手話通訳の活動が全国規模に拡大し、それによって私たちはアフリカ全土でろうコミュニティに対するアクセスを提供し、専門的な言語実践者として手話通訳者の認知を広げる努力を続けるよう奮起している。

アフリカ地域代表として選ばれた者として、WASLI2015-2019 の行動計画を計画通り実践することは大変な課題であったし、特に財政的にアフリカのすべての地域や国と連絡をとることは現実的なことではなく、まさにダビデとゴリアテを思わせるものであった。しかし、サブの地域代表たちや国内の代表者のおかげで任務を果たすことができた。

２．活動計画

アフリカの活動計画フルバージョンについては、www.wasli.org のアフリカのタブを参照。

WASLI のトレーニング数

・ナミビア
・ボツワナ
・ザンビア
・ナイジェリア
・カメルーン

WASLI アフリカ地域の会議数

オンライン３回
南アフリカ（ヨハネスブルク）１回
ナイジェリア（アブジャ）１回
ケニア（ナイロビ）１回

Page 49

３．パートナーシップ

ナイロビ大学（通訳学科）
ヴィットウォーターズラント大学（SLLM（文学言語メディア学部） 及び HuMEL）（南ア）
通訳と翻訳関する汎アフリカンマスターズコンソーシアム(PAMCIT)
ナミビア職業訓練所(NTA)
ボツワナ政府（養成と教育）
デフネット・アフリカ・グループ
コーダ – 南ア及びアフリカ
ザンビア国営放送局(ZNBC)
国際ラバト大学（モロッコ）

エスワティニ国営放送局
ハウテン・プレミア・オフィス(障害デスク)（南ア）
アフリカ盲ろう連盟(AFDB)

４．課題

2015 年から 2019 年の課題

・下部地域代表の焦点が、さらに下部の地域に分散すべきところが、全国協会に向いている
・国レベルでの WASLI の活動を支援する資金の不足
・ろう協会と通訳者との軋轢。通訳について権限の要求から、通訳者の正式な組織作りを阻止する動き
・アフリカよりも海外の通訳プログラムの方が優れているという固定観念
・手話通訳が職業として認められていない
・アフリカの大学で高等教育レベルでのろう通訳者の研修の場がない
・WASLI の国際手話の養成セミナーやワークショップの機会の不足
・ジェンダーやリーダーシップに関しての文化的な感覚

５．まとめ

まとめとして、4 年間の任期は課題が大きかったが、アフリカの手話通訳の発展のためのすばらしい道筋でもあった。

手話通訳者の専門化に関する主要な関係者との建設的な対話への関与は継続的な活動であり、手話通訳者は自分たちの組織を作り、ろう協会と関わって平等なアクセスに向けて正式な協力関係に取り組むことが求められている。

Page 50

WASLI アフリカは引き続き、公式および非公式な養成プログラム、ウェブセミナー、大会への参加を通じて手話通訳者の能力育成を行う。

2015 年～2019 年の活動計画にあげた目的のほとんどは達成された。特に 6 つの通訳者協会の設立（法定登録）が今期のハイライトである。

WASLI トランスコーカサス

地域代表期末レポート
アンナ・コマロワ　トランスコーカサス地域代表

概要:

本地域で正式に同盟関係を結んでいるのは 9 カ国ある。アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ジョージア、キルギス、ロシア、タジキスタン、ウクライナ、ウズベキスタン。

Page 51

カザフスタンやトルクメニスタンのコミュニケーションの確立には問題があるが、最近ではいくつかの変化が見られるので今後関係を作ることは可能であろうと思われる。

カザフスタン : ろう者組織は手話通訳の仕事には興味がないようである。何らかの訓練を受けた通訳者は大勢おり、いくつかの地域単位で手話通訳者はいる。2019 年の訓練についてアクトベの町のグループと連絡を取った。

トルクメニスタン（盲者とろう者の協会）: これまで一度もメールに返信がなかったが、タジキスタンでその地域のろう教育の会議の場で中央事務所から来ている手話通訳者と会ったことがある。その人は WASLI の活動と地域活動の両方への参加に大変関心を持っていた。彼らはモスクワで出版された雑誌に掲載されていた WASLI や WFD についての情報に関心を持っているが政治的な理由によってインターネットへのアクセスが制限されている。

他地域に属する２カ国がトランスコーカサスの活動への参加に関心を示した。
モンゴル : この組織は WASLI アジアの一部であるが、ソビエトの遺産により、ろう者組織や手話通訳者の役割及び養成は類似しており、キリル文字によるロシア的な指文字と手話語彙の類似（モスクワとレニングラードに中央化したろう者訓練の教師による）があり、モンゴルの通訳者やろう者のリーダーたちは本地域との協力に興味を示した。

モルドバ : 主に上記で説明した理由により、この国は連絡を取ることに興味を示している。昔からモルドバとロシア、ベラルーシとウクライナの関係は密接で強固であった。ルーマニア手話の影響は一定あるが相互の手話の類似性は明白である。

この地域の 9 カ国は 25 万人のろう者や難聴者がいるが、18 万人近くのろう者の全国組織の会員、WFD の一般会員も含めた数である（盲ろう者連盟のあるキルギスを除く）。
100 万人のろう者の４分の１の数字は、手話通訳利用者の数だけを示している。

手話通訳者の数についてのデータは、情報源によって数値が異なるため信頼性が低い。ろう者組織から受け取ったデータでは、ろう者組織やそのクラブで働いている通訳者だけが含まれており、教育場面で働いている手話通訳者や秘書的な立場の者、アシスタント、ソーシャルワーカー、会計士さえも「通訳者」として数えることでさらに全体像を分かりにくくしている。
そのため、９カ国の全地域の数字は 950 人から 1,400 人で、タジキスタンのろう者 640 人に対して１人の通訳者というような国から、ジョージアの１：７２まで著しい違いがある。

アルメニア:
ろう者 3,000 人、1,300 人が協会の会員
手話通訳者は８人。内４人がエレバンに、他の町に４人。全てコーダ。
米国の宗教使節団によって訓練を受けた１２人の手話通訳者による独立したグループもあったが、彼らについてはほとんど知られていない。
手話通訳者２名は大学レベルの教育を受けている（通訳者としての教育ではない)。

Page 52

教育場面では手話通訳者はいない。ろう者と難聴者の学校が２校あるのだが。ろう学校では手話が教科として教えられている。
手話通訳者はろう協会から給料を得ている。147 ドルの月給または個別の案件では１時間４ドル、旅費含む。
２つのテレビチャンネルで４人の手話通訳者がテレビ局から報酬を受け取り、ニュースや子供向け番組が通訳されている。
遠距離リレー通訳サービスがエレバンにはある。
2011 年手話通訳法が公布された。
国内に公式に手話通訳者の組織が一つある。

アゼルバイジャン：
ろう者約 8,000 人、内 4,000 人がろう協会員。
約 20 人の通訳者は主にコーダ。
ろう者組織には問題があり、独立したＮＧＯが現在さまざまな問題を処理している。2019 年 1 月—4 月の間、私はバクーの通訳者との間で、法令その他の文書を手伝って数多くの協議を持ち、全ての文書を法務省に提出し、「アゼルバイジャン手話通訳者連盟」を創設した。

ベラルーシ：
ろう者 9,000 人、内 4,000 人がろう協会員
通訳者約 60 人、内 20 人が有資格者。国立教育大学(２年課程)で大学レベルの教育を受けている。特に「手話通訳者・教師」。入学の必要条件は大学の学士または修士。20 人の内の１人はろう者で学校の手話教師として働いている。2005-2010 年この特別教育を受けることが可能となり、今では高等教育を受けた通訳者の必要性はないと言っている。
教育場面で働いている通訳者もおり、特別作業所の９人の手話通訳者がろう協会に所属していた。
国営テレビで手話通訳がある。
ミンスクを中心に手話通訳者組織を設立したいという最初のグループがある。しかし、ろう者組織は支援的ではなくここ４年間で何も変わっていない。

ジョージア：
ろう者 2,500 人、内 1,250 人がろう協会員。
通訳者 35 人ほぼ全員がコーダ
過去 10 年で通訳者の数は７倍に増加している。20 人以上が首都のトビリシで働いている。残りは地方にいる。男性は１名だけ。
盲ろう通訳はいない。ろう通訳者もいない。

13 人の手話通訳者が教育場面で働いている。学校、大学、インクルージョンの場面である。時間数には制限はなく、個人通訳が法律によって保障されている。
９人が救急センターで勤務。3 人がテレビの現場でニュースや娯楽番組などの通訳をしている。US エイドやノルウェーの支援団体の援助を受けて教育省によって追加的な強化訓練が行われている。

Page 53

彼らは司法省に関係書類を提出して手話通訳者組織を立ち上げたばかりであるが、この組織のトップはろう連盟の会長が務めている。副会長 2 人はその会長の聴者の妻とこの組織の通訳者である。
手話に関係する法律はない。

キルギス：
ろう者約 5,500 人、内 3,400 人が盲ろう者連盟に登録している。
会長のマンベタクノフ氏が辞職して、関係性は弱くなった。
手話通訳者の数はあまりはっきりしていない。公式には５人がビシケクに、４人以上が地方にいるが体系的な訓練は受けていない。難聴者の中には聴者の通訳者の代わりとして機能している者もいる。
手話に関する法律はない。

ロシア：
ろう者 14 万人。内 91,000 人がろう協会員。約 25,000 人がモスクワを中心とする地域にいる。
手話通訳者の数は不明確で、登録によって 450 人から 900 人。
2010 年から大学レベルでの手話通訳のための教育が受けられるようになり、学士号や修士号がとれるようになった。現在、２つの大学が大学レベルの訓練を（モスクワ学士号、修士号＋、ノボシビルスク学士号)、短大１つが提供している。
2016 年以降約 30 人の通訳者がモスクワ国立言語大学を卒業している。
訓練を受けた 28 人の盲ろう者のための通訳者がいる。ろう者と難聴者 20 人を含む。約 40 人が協働している。
正式なろう通訳者のグループが一つあり、盲ろう者の依頼に応えており、３人は国際手話通訳者である。
中央のテレビ局には手話通訳者はいないが、地方局には数名いる。多くの通訳者は教育現場で働いているが、グループに対して報酬が支払われており個人払いではない。
モスクワには 24/7 手話通訳の遠隔サービスがある。
手話通訳者組織は 2010 年に立ち上げられた。
2012 年 12 月に手話法ができている。

タジキスタン：
ろう者 9,000 人、内 4,500 人がろう協会員。公式の通訳者 14 人。
通訳者の協会は 2018 年 12 月に創設されたが、法的文書の準備がまだ整っていない。しかし、会長がろう協会の地域会長として選出された（ゼボ・ビディエバ、手話通訳者。コーダ）
1 つのテレビチャンネルのニュースが 2 人の通訳者で 4 年やっている。ろう通訳者の養成はなく、手話に関する法律もない。

ウクライナ：
ろう者約 40,000 人、ほぼ同数がろう協会員、登録手話通訳者 324 人（2017 年現在）、ある情報によるとろう者 115 人に対して手話通訳者 1 人という数字もある。
手話通訳者の養成コース、再訓練コースのすべてがろう協会によって運営されている。
約 40 人の手話通訳者が工場で働いている。
手話通訳が行われているテレビのニュースも定期的にある。
手話に関する法律はないが、コミュニケーション及び指導手段として認知されている。

ウズベキスタン：
2018 年から若いろう者のリーダーと手話通訳者と新しい関連ができている。2019 年 7 月には養成コースが計画されている。
ろう者は約 31,000 人、内 22,000 人がろう協会員。
手話通訳者 45 人で 14 人が地域のろう者組織の支部で働いている。15 人が特殊な工場または作業所で働いている。
20 人のろう者、難聴者、聴者が盲ろう者の通訳、ガイドとして活動するために 3 日間の養成研修を受けた。新しい強力な先導的な通訳者のグループがあり 2019 年夏、養成を受けた後組織を立ち上げる予定である。
さまざまな協力者が運営する短期の養成コースがあった。特にモスクワの専門家と同様日本や韓国からの協力者である。
手話に関する法律はない。

ロシアは、この地域では唯一大学レベルでの手話通訳者養成を行っている国である。手話はベラルーシでは学士課程で大学レベルで教えられている。ただしろう者の特別教師のみである。

短期の再教育コースがあれば、多くの全国手話通訳者組織とろう者組織の両方が少なくともいくらかの養成を受けることができると思うだろう。そのため、通訳養成の強化のために、私たちは高品質な養成コースがこの地域の多くの国で必要であると感じている。

十分な有資格のろう通訳者がいるわけではないが、ロシア、ウズベキスタン、ウクライナではこの仕事が出てきている。(盲ろう者のためのろう通訳者のためのモスクワ大学での 12 週間のコース)

国々の音声言語はさまざまな語族（アラム語、カフカス語、イラン語、カルルク語、キプチャク語、オグス語、スラブ語、トルコ語）に属し、文化、宗教はさまざま（ロシア正教会、アルメニアカソリック、ジョージア正教会、ムスリム、他）であるが、彼らはソビエトの歴史的な遺産により統合されており、非常に重要なことには、手話は非常に似通っている。

活動：

1. WASLI と手話通訳者組織についての情報発信：全ての旧ソ連諸国のろう者組織で配布されているロシアろう協会誌「VES」に定期発行。HP サイト voginfo.ru 及びソーシャルグループ（会員 45,000 人）にロシア手話とそれを文章に起こしたものとを掲載。VES 2015 年 9 号では、イスタンブール大会について大きな記事を書き、12 号では「WASLI の使命」を発行した。他にも 2017 年 6 号、10 号、2018 年 4 号、11 号など。これらの情報は www.vog.ru や http://vk.com/deafsign （ろう者・聴者 45,000 人のユーザーあり）にも掲載された。また、2018 年 10 月モスクワで行われた WASLI/efsli 大会についても記事を書いたし、これは efsli と WASLI にも記事は送ってある。10 月 31 日の手話通訳者の日に関連してモスクワ TV チャンネル（2016 年、2017 年）やラジオロシア 2 で、WASLI について話もしたし、インターネット新聞の Nash Gorod（*私たちの町*）と Vesti（*ニュース*）にインタビューも受けた。タジキスタンとジョージアへの訪問やロシアでの各地（ノボジビルスク、セント・ペテルスブルグ、モスクワ、リペツク、エレツを訪問中、手話通訳者の全国組織と WASLI の役割について話した。
2. 2015 年 10 月ロシアろう協会 VOG が手話通訳者コンテストという大きな催しを開催した。これは、32 のロシアの地域から参加者があり、国外からも参加があった。私は審判長を務め、このイベントや事後の会議で、手話通訳者の仕事と WASLI について話した。
3. 2015 年 11 月タジキスタンのドゥシャンベで行われたろう教育に関する国際セミナーに参加し、教育相、社会政策副大臣、ドゥシャンベ市の行政と会談する機会を得て、手話通訳サービスの重要性や通訳者の報酬、もちろん WASLI について話をした。
4. 2016 年 1 月、メルボルンで行われた TISLR（手話研究の理論的問題）会議にも出席した。
5. 2016 年 6 月、タチアナ・ダビデンコと私はノルウェーのスポンサーの支援を得てジョージアの教育省主催の 5 日間のワークショップでトレーナーを務めた。これまでにも何度もジョージアには行ったことがあったし、最近では 2013 年にも行っているが、通訳サービスに関してのこの国の変化は著しいものがある。グループの中に 27 人の受講生がいて、全てが通訳者として活動しており、25 人はコーダ、2 人は家族にろう者がいた。研修だけではなく、手話通訳者組織の立ち上げについても議論できた。これはろう者組織の支援があれば非常に現実的な様子である。また、ゼロからの手話通訳者養成の問題についてカリキュラムの内容や認定システムについてなど教育省の関係者やろう者や聴者の指導者たちと議論した。
6. 2016 年 9 月、アテネで WASLI 理事会と efsli 大会に参加した。
7. 2016 年 10 月、VOG（ロシアろう協会）は 90 周年を祝い、大きな大会を催した。これは、近隣諸国の通訳者たちと会う絶好の機会となった。モルドバ、ベラルーシ、タジキスタンの通訳者と会合を持つ機会をやりくりし、またアルメニアろう協会の会長とも通訳者について話し合った。グリゴリアン氏と登録通訳者の状況や宗教使節団の研修を受け、ろう者組織に認知されていない通訳者の集団について話し合った。ベラルーシの代表は、自国で通訳者独自の組織を設立することは容易ではなく、特別な通訳者グループか評議会を作るのが現実的だろうと説明した。

8. 2017 年 10 月タジキスタンのドゥシャンベでろう者の手話指導者のための研修セミナーを企画し、手話通訳者の 1 日セミナーも開催した。通訳者のサービスをタジキスタンの遠く山岳地帯まで拡大するさまざまな可能性について議論した。

9.　2017 年 12 月モスクワで、ベラルーシ、モルドバ、ウクライナからゲストを招いてコーダの会議があった。フィンランドのライリ・オヤラが講演し、私も WASLI についてや専門的な通訳とコーダによる手話の違い、手話通訳者組織の必要性について話した。

10.　2018 年 9 月ドゥブロブニクでの efsli の会議に参加し、WASLI 理事たちと会い 2018 年 10 月に開かれたモスクワでの地域会議について話し合った。会議の報告は WASLI に送付し、（会報に）掲載された。タジキスタンの通訳者ゼボ・ビディエバが WASLI の基金のおかげで会議に参加することができ、WASLI 理事会に大変感謝している。

11.　2018 年 11 月ウズベキスタンの手話通訳者の主導的なグループと会合し、行動計画と組織の設立について話し合った。第 1 回セミナーは 2019 年 7 月に開催される予定となった。

12.　1 月から 4 月にかけて、アゼルバイジャンで手話通訳者組織の設立について何度もセッションを持った。

　この地域には正式には２つしか手話通訳者組織がなく（アルメニアとロシア）、他に 3 つの地域で法的認可を待っている（アゼルバイジャン、ジョージア、タジキスタン、それにカザフスタンも？）。少しでも海外で活動経験のある英語話者である通訳者を選ぶのが、国際的な活動を組織するには理にかなっているだろうと考えられる。カチャ・ゴロバノバ（1995 年モスクワ国立言語大学手話通訳学士取得）は少なくとも最初の 1～2 年、ろう者組織や通訳の状況について分かるまでは私に協力することに賛成してくれた。その後、彼女自身で継続するだろう。パリで共に話し合う予定である。

WASLI バルカン

地域代表期末レポート
デサンカ・ジジック　バルカン地域代表

この４年間で、バルカン地域の１１カ国の通訳者と連絡をとることに努力をしてきた。そして、彼らにもっと行動し関係を持つように働きかけてきた。

特に以下の活動を行った。

1. バルカン地域の手話通訳者協会と手話通訳者の連絡先の情報を集め、WASLI バルカンに関わるように招待した。アルバニア、コソボ、セルビア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、トルコ、スロベニアは WASLI バルカンに加入することを受け入れてくれた。スロベニアとセルビアの協会は WASLI 会員である。バルカン地域の手話通訳者と協会の連絡先は WASLI 理事会に提供できるようになるだろう。

2. バルカン地域の通訳者、組織、関心のある団体とオンラインミーティングを開いた。手話通訳者協会の設立方法や通訳の専門性の高め方、EFSLI（ヨーロッパ手話通訳者フォーラム）や WASLI との連絡について支援策を提供した。

3. バルカン地域の全ての手話通訳者のために WASLI バルカンのフェイスブックグループを立ち上げた。現在２９人のメンバーがいるが、それほど活発ではない。投稿の大半が EFSLI のイベントの宣伝である。もっとも、EFSLI はこの分野でもっとも活動的な組織であるが。

4. 2017 年 4 月セルビア手話通訳者協会の総会に WASLI 代表として出席。

5. ジャスティサイン・プロジェクト—ベオグラードのろうコミュニティの司法へのアクセス—のプレゼンで WASLI 代表として出席した。EFSLI 主催でアイルランドのインターソースグループの協力を得て 2017 年 5 月に開催したものである。セルビア、クロアチア、スロベニア、マケドニアの手話通訳者や通訳者協会の代表が参加した。ベオグラード大学やアイルランド領事館からも来賓出席があった。

6. バルカン地域の手話通訳業の強化—バルカン集中 TOT トレーニングの案が EFSLI に提出され、WASLI にも送られる。申込みは保留中。まだ応答はない。

7. バルカン地域の通訳者の EFSLI SAF（efsli 参加支援基金）への申込み支援。上手くいったものもあり、2018 年 9 月のドゥブロブニクでの EFSLI 大会に参加した。

8. コソボ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロ、セルビアの代表たちとオンラインミーティングを開いた。次にあげるバルカンのニーズについて議論した。
・地域社会で通訳への敬意を高め進めること
・海外の仲間、主として西洋諸国からのさらなる支援
・各国の手話の言語学的研究
・通訳者間のネットワークの強化
・バルカン諸国内での協力者の増加

9. 2019 年 7 月 14－15 日、フランス、パリでのオンライン理事会に出席予定

WASLI ラテンアメリカ・カリブ海

地域代表期末レポート
イサベル・レイ・クレメンテ　ラテンアメリカ地域代表

各代表者たちと実行した行動
本地域の WASLI 加盟国の代表者と１７回のバーチャルミーティング
活動の発展のために３つの規則をまとめた。

- バーチャルミーティングの規則
- 対面会議の規則
- ラテンアメリカ会議の規則

通訳者協会の WASLI への新規加盟３団体:
アルゼンチン手話通訳者市民協会- AAILS
チリ手話通訳者ネットワーク - RICH
ウルグアイ手話通訳者協会 – AILSU

国名	パートナー（聴）	パートナー（ろう）
アルゼンチン	15	7
ブラジル	14 協会	
チリ	50	
コロンビア	809	41
コスタリカ		
キューバ	---	---
エクアドル	40	7
パナマ		
パラグアイ	36	3
ペルー	21	
ドミニカ共和国	85	
ウルグアイ		
ベネズエラ	130	

代表
2015 年 7 月　WASLI 対面理事会　イスタンブール、トルコ
2015 年 9 月　ペルーのオンブズマン事務所が主催するろう者の祭典での WASLI 展示
2016 年 3 月　ペルーのろう者の公用語としてペルー手話を認識する法律 29535 のための規則の提案の準備のための作業表への参加。ペルー州の代表、ろう者の団体および市民社会団体とともに。
2016 年 10 月 7～9 日　コロンビア手話通訳者ガイド全国会議に出席。現 WDF 南アメリカ代表ヘンリー・メヒアと会談。Fenascol（コロンビアろう者連盟）と Aniscol（コロンビア手話通訳者協会）の間で 2017 年以降の共同行動を開始することに合意した。

2017 年 1 月 18～21 日　私はベネズエラ手話通訳翻訳者全国大会に出席。WASLI についてのプレゼン、ベネズエラろう連盟会長と会談。ASOIVE（ベネズエラ手話通訳者協会）と連盟との関係は良好。WASLI を認識してもらった。

2017 年 7 月 17～21 日　　第３回ラテンアメリカ手話翻訳通訳者会議及び盲ろう者通訳ガイド会議。パナマ宣言が起草された。

2018 年 4 月 6～8 日　ウルグアイでのろう者の教育、インクルージョン及び開発に関する国際会議。プレゼンを行い、活動していなかったウルグアイ手話通訳者協会と連絡を取ることができ、活動の再開と WASLI への加盟を勧めた。

2018 年 8 月 14 日　WASLI 理事会バーチャルミーティング

2018 年 10 月 9～13 日　ろうコミュニティ全国フォーラム、コロンビア手話通訳翻訳者全国会議、言語計画全国シンポジウムに出席—ボゴタ、コロンビア

2019 年 4 月 9 日　ペルー翻訳者協会及びペルー手話通訳者ガイド通訳者協会 ASISEP と会談、理解の合意に署名

2019 年 5 月 8～11 日　新しいアルゼンチン手話通訳者市民協会 AAILS の活動を支援するために政府機関との会合のためにアルゼンチンへ。WASLI についてプレゼン。大学・教育機関での通訳に関する話題。

新地域代表

2019 年 5 月 18 日新代表の選挙が行われ、ベネズエラの代表マルセル・クリストファー・ガルシア氏が多数決により選出された。

Page 61-79

立候補者公約

* 会長:　　クリストファー・ストーン（英国）
* 副会長:　　スーザン・エマーソン（オーストラリア）
* 事務局:　　イサベル・ヘイエリック（ベルギー／英国）
　　ティナ・ティモシー・グワザ　（ナイジェリア）
　　アラン・ウェンツ（ニュージーランド）
*会計:　　ナイジェル・ハワード
*ろう通訳アドバイザー : フランシスコ・アルベルト・カレラ・コリア（ドミニカ共和国）

（日本語訳割愛）